

# PIARC 技術委員会活動報告および世界の交通安全動向の紹介

## はじめに

日本道路協会国際部会では、世界で議論されている道路諸問題に関する情報について日本の道路関係者に広く共有することを目的に、国内外から講演者を招き、会議2日目（11月2日）の9：00から17：15にかけ講演会を実施した。講演会は2部構成で行われ、第1部では「世界道路協会（WRA / 通称 PIARC）技術委員会の活動報告」を、第2部では「世界の交通安全に関する最新動向」をテーマにご講演頂いた。

### 1. 第1部：PIARC 技術委員会の活動報告

PIARC 技術委員会は、世界における道路諸問題を検討している。今年は4年間の活動の最終年度であり、その成果は9月に開催された第23回世界道路会議 PIARC バリ大会（本誌12月号参照）で報告されている。

第1部では、PIARC 技術委員会で行われている、世

表-1 PIARC 技術委員会の活動報告発表者

内容	技術委員会名	発表者
開会挨拶		藤川 寛之
道路システムのガバナンスとマネジメント	TC1.1 道路に関する経済 TC1.2 道路に対する投資の財政 TC1.3 効率的な道路行政 TC1.4 ネットワーク管理のマネジメント	森杉 壽芳 南部 隆秋 山川 朝生 中村 俊行
道路インフラの品質	TC4.1 アセットマネジメント TC4.2 道路・車両の相互作用 TC4.3 道路舗装 低コスト道路舗装マニュアルについて TC4.4 橋梁と道路構造物 TC4.5 土工・排水・路床	田崎 忠行 神谷 惠三 島居 康政 桃井 徹 加島 聰 三木 博史
持続可能な交通	TC2.1 持続可能な開発と道路交通 TC2.3 都市内交通 TC2.4 物流とインターモーダル	大西 博文 矢島 水谷 谷口 栄一
交通安全と道路管理	TC3.2 リスク管理（道路防災） TC3.3 道路トンネル管理 TC3.4 冬期維持管理	岡原美知夫 水谷 敏則 石本 敬志



持続可能な交通



道路システムのガバナンスとマネジメント



交通安全と道路管理



道路インフラの品質

写真-1 PIARC 技術委員会の活動報告の様子



写真-2 会場の様子



写真-3 世界の交通安全に関する最新動向の様子

界の道路交通に関する課題検討動向を各講演者よりご紹介いただいた。

また第1部では、PIARC 技術委員会の紹介のほかに、桃井足利工業大学教授より、モンゴル国道路局からの要請を受け実施してきた、低コスト道路舗装に関するマニュアル作成の支援活動について講演をして頂いた。

今回の講演会ではPIARC 技術委員会が議論してきた、道路の社会経済効果、道路財源、行政組織、道路建設から管理、運用、環境、交通安全、都市交通、ITSに至るまで、幅広い世界の最新動向に関する情報を提供することができた。

## 2. 第2部：世界の交通安全に関する最新動向

第2部では道路に関する国際機関（IRF、PIARC、UNESCAP）から関係者を招き、道路交通安全に関する各機関の検討状況等について講演を行った。

表-2 世界の交通安全に関する最新動向発表者

・開会挨拶	金子 正洋
・世界の交通安全の研究動向	Mike Dreznes
・PIARC TC3.1における交通安全の調査研究結果	元田 良孝
・アジアにおける交通安全の取り組みについて	Madan Bandhu Regmi

まずはじめに、IRF（国際道路連盟）ワシントンプログラムセンター次席専務理事であり、TRB（米国交通研究委員会）「道路安全に関する国際的研究活動を行う分科会」の議長されているMike Dreznes氏に、「IRFの立場からみた、交通安全対策について」講演を頂いた。

・Dreznes 道路交通安全を推進するにあたり「ドライバーに対する教育プログラム・ルールの策定」「自動車の安全性向上」「道路そのものの安全性の向上」を図ることが必要であり、どれも重要な検討課題であるが、道路事故死者のうち約3分の1が歩行者を巻き込まない自動車単体の事故であることから、IRFでは、特に防護柵などの道路インフラの改良から、道路安全向上を図る方法について検討を進めている。

続いて、岩手県立大学の元田教授から、「PIARC TC 3.1 交通安全」での議論内容について講演を頂いた。

・元田 TC 3.1の活動は「効率的な道路交通安全の投資法」「安全の観点からの道路設計の改良」「ITSを用いた安全性の改善」「人間の要素を考えた交通安全」を目的にしていること、またこの委員会に参加することに対する我が国が得たメリットとして「道路交通安全の世界の状況の把握」「我が国の技術・政策への反映」「開発途上国等への技術移転による国際貢献」が挙げられる。

最後に、UNESCAP（国連アジア太平洋経済社会委員会）経済担当官のMadan Bandhu Regmi氏より、「UNESCAP から見た交通安全対策について」ご講演頂いた。

・Regmi UNESCAPとして、2002年から2015年までに60万人の道路交通事故死者数減少を目標に、アジア太平洋地域での交通安全改善を目指している。さらにこの目標達成のために、例えば「歩行者・自転車・オートバイのレーンを別にする」、「アルコールテスト」など、24のターゲットが提起されている。

また、UNESCAPが取りまとめを行っているアジアハイウェイに関する紹介と、アジアハイウェイに対する今までの日本の取り組みに対し感謝の意が述べられた。

## おわりに

長丁場であったにもかかわらず、どの発表にも多く方が聴衆されており、海外の道路情報に対する関心の高さが示された講演会となった。

最後に、今回貴重な講演をして頂いたPIARC技術委員の皆様、桃井徹足利工業大学教授、Dreznes氏、Regmi氏また司会でご尽力頂きました、川原俊太郎国土交通省道路局企画課企画専門官、金子正洋国土交通省国土技術政策総合研究所道路研究部道路空間高度化研究室長、ご聴講頂きました皆様に感謝致します。

（文責：国土交通省道路局企画課係長 徳増 健）